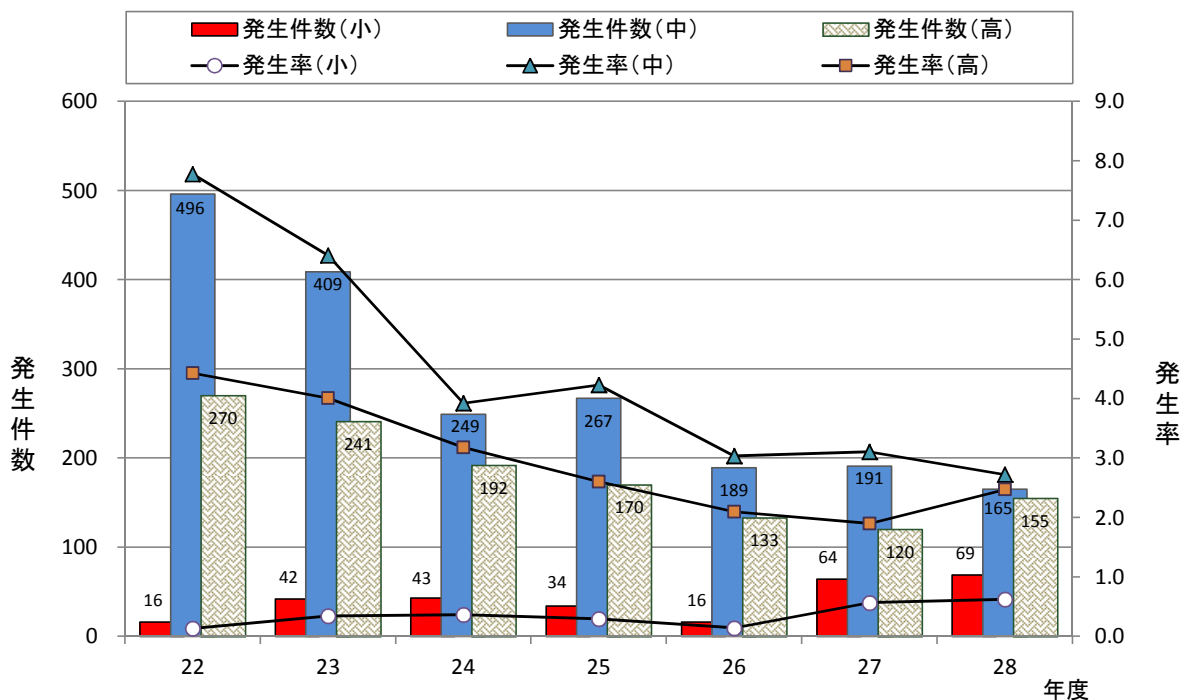


平成28年度 暴力行為の状況について  
(県内国公私立・小中高等学校)

心の支援課

1 校種別発生件数及び発生率の推移



年度		22	23	24	25	26	27	28	
小学校	発生件数(件)	16	42	43	34	16	64	69	
	前年度増減	▲7	26	1	▲9	▲18	48	5	
	発生率	県	0.1	0.3	0.4	0.3	0.1	0.6	0.6
		国	1.0	1.0	1.2	1.6	1.7	2.6	3.5
中学校	発生件数(件)	496	409	249	267	189	191	165	
	前年度増減	151	▲87	▲160	18	▲78	2	▲26	
	発生率	県	7.8	6.4	3.9	4.2	3.0	3.1	2.7
		国	12.0	10.9	10.7	11.3	10.1	9.5	8.8
高等学校	発生件数(件)	270	241	192	170	133	120	155	
	前年度増減	53	▲29	▲49	▲22	▲37	▲13	35	
	発生率	県	4.4	4.0	3.2	2.6	2.1	1.9	2.5
		国	3.0	2.8	2.8	2.3	2.0	1.9	1.8
合計	発生件数(件)	782	692	484	471	338	375	389	
	前年度増減	197	▲90	▲208	▲13	▲133	37	14	
	発生率	県	3.1	2.8	2.0	1.9	1.4	1.6	1.7
		国	4.3	4.0	4.1	4.3	4.0	4.2	4.4

(注) 1 調査名: 文部科学省「平成28年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

2 高等学校においては、平成25年度から全日制・定時制課程に加え、通信制課程を調査対象とした。

3 平成28年度調査対象校: 県内国公私立・小中高等学校677校

4 発生率: 児童生徒1,000人当たりの暴力行為発生件数(暴力行為発生件数/全児童生徒数×1,000)

- ・ 県内国公私立の小中高等学校の児童生徒が起こした暴力行為の発生件数は、小学校69件(前年度比5件増)、中学校165件(前年度比26件減)、高等学校155件(前年度比35件増)である。

## 2 校種別・内容別件数

[単位:件]

校種	対教師暴力			生徒間暴力			対人暴力			器物損壊			合計		
	26	27	28	26	27	28	26	27	28	26	27	28	26	27	28
年度	26	27	28	26	27	28	26	27	28	26	27	28	26	27	28
小学校	2	7	15	10	30	45	0	2	1	4	25	8	16	64	69
中学校	34	27	14	110	104	115	6	5	1	39	55	35	189	191	165
高等学校	8	6	10	75	80	67	6	8	13	44	26	65	133	120	155
計	44	40	39	195	214	227	12	15	15	87	106	108	338	375	389

(注) 器物損壊は、校内のみを集計

・形態別は、「対教師暴力」が39件(前年度比1件減)、「生徒間暴力」が227件(前年度比13件増)、「対人暴力」が15件(前年度比増減なし)、「器物損壊」が108件(前年度比2件増)となっている。

## 3 現状と取組の方向性

### (1) 現状

- ・発生件数は、小学校・高等学校が増加し、中学校が減少
- ・県の発生率は国の発生率に比べて低い
- ・校種別の発生率では、国の発生率に比べ、小学校・中学校は低く、高等学校は高い

### (2) 取組の方向性

#### ① より深い児童生徒理解と信頼関係の構築

- ・本人の特性の理解と問題行動のサインをつかむための児童生徒との信頼関係の構築

#### ② 人権感覚・規範意識を育てるための教育活動の充実

- ・公正・公平、遵法精神、公德心、相互理解などをテーマに取り入れた道徳教育の充実
- ・スクールサポーターなど地域人材を活かした非行防止教室の実施
- ・地域での体験活動やボランティア活動等による自己有用感の醸成

#### ③ 教育相談体制の充実による暴力行為の前兆の発見や早期対応

- ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等による相談支援体制の充実
- ・校内における指導方針の共有と指導体制の確立
- ・家庭、地域、関係機関(警察、児童相談所、保護観察所、家庭裁判所等)との一層の連携